

事業番号	10 01 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	みんなで支える森林づくり事業	部局	林務部	課・室	森林政策課				
		実施期間	H30 ~ R4	E-mail	rinsei@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	①労働生産性			④観光消費額					
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進			3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり					

1 現状と課題

- ・森林づくり推進支援金事業の実施後、市町村が検証・評価を行い、その結果を翌年度以降の事業に反映させていく必要がある
- ・森林税の認知度は約77%と高いものの、若年層における認知度が低い
- ・地域での森林管理の空洞化が深刻さを増しており、住民協働による里山の整備や多面的な利活用が求められているが、計画策定などの初動段階の支援が引き続き必要
- ・観光地等の景観整備を図るための伐採や森林整備について、市町村からの事業ニーズは非常に高い状況である

2 事業目的

地域の景観に合致した森林整備、地域住民等の主体的な参加による里山整備の取組を推進

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①地域の課題に応じた森林づくりの取組支援
- ・市町村が地域の課題解決をするために行う、野生鳥獣被害対策としての緩衝帯整備や国庫補助事業の対象とならない松くい虫対策など森林づくりの取組を支援
- ②デジタル媒体を活用した広報活動や第3期森林税(H30～R4)の検証及び評価を実施
- ・動画共有サイトやSNS等を活用したデジタル広報の実施
 - ・第3期森林税の検証及び評価をするため、みんなで支える森林づくり県民会議及び地域会議を開催
- ③地域で取り組む里山の利活用の取組を促進
- ・里山整備利用地域の認定ポイント、地域協議会の設立、地域活動の計画等について助言を実施
 - ・森林を活用した教育活動や薪の生産等の地域活動を支援
- ④森林整備による景観の向上による観光地の魅力向上を促進
- ・県内の主要観光地周辺や高速道路沿線で景観を損ねている森林を整備し、観光地等の魅力向上を促進

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	里山整備利用地域の認定数 (累計)	箇所	98		101	↗	105	↗	150	未達成	地域住民の協働による里山の多面的な利活用を把握するための指標：長野県森林づくり県民税に関する基本方針（以下、「基本方針」という）でH30～R4の目標を150箇所としているため
②	観光地等における森林整備 (累計)	ha	84		108	↗	123	↗	110	達成	基本方針でH30～R4の目標を110haとしているため

5 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	158,102	△ 9,700	148,402	12,635	143,028	3.8
R3年度	0	186,815	3,736	190,551	12,821	186,415	3.8
R2年度	0	190,158	8,922	199,080	11,399	191,970	3.8

事業番号	10 01 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	みんなで支える森林づくり事業		部局	林務部	課・室	森林政策課		

6 主な取組実績と成果

<p>①地域の課題に応じた森林づくりの取組を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村が地域の課題解決をするために行う野生鳥獣被害対策としての緩衝帯整備や松くい虫対策などの取組を支援 ・野生鳥獣被害が課題となっている木曽町等において、緩衝帯整備の取組を支援 ・森林への竹林の侵入が課題となっている飯田市等において、侵入竹林の整備を支援 <p>②デジタル媒体を活用した広報活動や第3期森林税(H30～R4)の検証及び評価を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林務部公式SNSでの森林税に関する投稿を作成 ・第3期森林税の最終年度となる本年度に、県民の意向を調査分析し、今後の森林づくり県民税のあり方についての基礎資料とするためにアンケート調査を実施（企業、個人、市町村向け） <p>③地域で取り組む里山の利活用の取組を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山整備利用地域の認定のポイント、地域協議会の設立、地域活動の計画等について助言を実施 ・森林を活用した教育活動や薪の生産等の地域活動を支援 <p>④森林整備による景観の向上による観光地の魅力向上を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の主要観光地周辺(12箇所)や高速道路沿線(1箇所)で景観を損ねている森林を整備し、観光地等の魅力向上を促進 ・事業の実施により、山岳等を生かした眺望や景観が確保され、観光地としての魅力向上に寄与した
--

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	里山整備利用地域の認定数(累計)	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
新型コロナウイルス感染症による地域活動の自粛や地権者との調整が困難であったこと等により、地域認定に向けた地域活動が思うように進まず、目標としていた150地域を下回った。							
指標②	観光地等における森林整備(累計)	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
観光地のみでなく、旅行者等が通行する高速道路沿線等でも事業実施を進めたことにより、目標を上回る123haで事業を実施。							

8 今後の事業の方向性

<p>(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光地の森林景観整備など地域のニーズが高く、要望に応えきれていない事業がある ・森林税の認知度は上がっているものの、新聞・広報誌などの紙媒体での広報が多かったため、20代30代への使途の認知度が依然として低い
<p>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山整備利用地域の認定への支援を引き続き行うとともに、より県民が森林に親しむことができる「開かれた里山」としての整備等の支援を行う ・第4期森林税を活用した取組の推進と第3期森林税の成果と課題について整理、検証を行っていく ・動画共有サイトやSNS等デジタル媒体を活用した広報を展開していく

事業番号	10 01 01	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	みんなで支える森林づくり事業		部局	林務部	課・室	森林政策課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	みんなで支える森林づくり事業		181,366 千円	174,701 千円	131,945 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	森林づくり推進支援金	補助金	県内77市町村が行う、地域の課題解決に向けた森林づくりの取組を支援 補助件数103件、補助総額89,934千円		
2	みんなで支える森林づくり推進事業	直接	・みんなで支える森林づくり県民会議、地域会議の開催 ・第4期森林税のPRリーフレットを制作 事業費5,388千円		
3	里山整備利用地域活動推進事業	補助金	地域住民等で構成される協議会に対して、里山整備利用地域における森林を活用した地域活動を支援 補助件数3件（新規）、補助総額23,891千円		
4	観光地等魅力向上森林景観整備事業	補助金	県内の観光地で、懸案となっていた景観の改善・回復のための森林整備を支援 補助件数13件、補助総額12,732千円		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	地域林政支援活動業務事務員		10,604 千円	11,714 千円	11,083 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域林政支援活動業務事務員	直接	・森林整備実施箇所の事業体との調整・管理 ・森林整備の調査補助 ・里山整備利用地域の認定及び地域活動への指導、助言 等 5名の事務員の配備		